

第十二軍復員經理業務處理要領抜粋

0762

第十二軍復員經理業務處理要領

第一章 總則

第一條 本要領ハ支那派遣軍復員業務規定（以下派遣軍規定ト稱ス）

ニ基キ第十二軍復員業務中經理ニ関スル事項ヲ規定ス

第二條 派遣軍規定第九條ニ依ル上陸地先遣要員中ニハ本要領第四條

ノ人員及之カ助手ヲ派遣軍規定第十四條ニ依ル復員管理官ノ

當該司令部首員ニハ分任官及助手ヲ含マシムルモノトス

第三條 各部隊ハ派遣軍規定第二十七條第一號乃至第三號ノ請給與

金ノ支拂ヲ迅速確實ナラシムルヲ左記区分毎ニ部隊請求受

領代人（以下部隊代人ト稱ス）ノ復請求受領代人（以下復代人ト稱ス

）ヲ命スルモノトス

ハ各道府縣朝鮮毎ニ

一名

第四條 各部隊長ハ派遣軍規定第二十七條第四號ニ依ル部隊代人ヲ任命シタルトキハ其ノ官氏名及本籍地(復員後ノ住所ヲ附記ス)ト共ニ印鑑ヲ第十二軍經理部長(以下軍經理部長ト稱ス)ニ通報スルモノトス

○ 第五條 各部隊ノ金錢及物品ハ出納ニ関スル帳簿及證憑書類ハ從前ノ規定ニ拘ラス總テ携行帰還シ上陸地ニ於テ目錄ヲ附シ軍經理部ニ引継クモノトス

前號 陸軍省令ニハ昭和二十年十月二日甲方陸電第(〇八二號)同日五日仁集經計第(四三號)別紙(第二項)保證書ヲ以テ證明シタル證憑書及同第三號ノ檢査ヲ了シタル帳簿證憑書ヲモ含ムモノトス

第二章 金錢 給與

第六條 派遣軍規定第二十七條第一號ノ退職賞與ノ支給ハ同規定附表第十三ニ據ルノ外左ノ各號ニ據ルモノトス

ノ退職賞與ノ基本トナルヘキ俸給及戰地増俸ニハ年切加俸及勤続加

別

俸ハ含マサルモノトス

乙俸給等留守宅渡實施者ニシテ進級昇給セルモ留守宅渡額ヲ變更シ
得サリシモ、ニ對シテハ新身分ニ應スル支給額ヨリ留守宅渡額ヲ控除セル
額ヲ基礎トシ算定ノ上支給スルモノトス

派遣軍規定第十六條該當者ニ付シテハ上陸地ヲ管轄スル軍管區司令
官ノ定ムル部隊(転属部隊)ニ於テ支給セラルヘキヲ以テ各部隊ハ支給
セサルヘキモノトス

第七條派遣軍規定第二十七條第六號ノ五ケ月分前拂俸給等ノ支給ハ在リ

各號ニ據ルモノトス

ハ俸給中ニハ諸加俸(年功加俸及勤続加俸ヲ除ク)ハ含マサルモノトス戰
地増俸ハ大東亜戰爭陸軍給與令細則第十一表及第十二表ニ依リ支給
臨時手当ハ支給セサルモノトス

派遣軍規定第十六條該當者ニ付シテハ上陸地ヲ管轄スル軍管區司令
官ノ定ムル部隊(転属部隊)ニ於テ支給セラルヘキヲ以テ各部隊ハ支給セサ

第~~八~~條 派遣軍規定第二十七條第三號ノ未支給ノ俸給等支給ハ左ノ各號ニ據

ルモノトス

各~~ノ~~准士官以上下士官兵及諸生徒並軍屬ニ付シテハ派遣軍規定第二十七條

第三號ノノ及~~三~~ニ拘ラス昭和二十年九月以降上陸ノ戦地~~前月迄~~前月迄ヲ終

前ノ例ニ依リ上陸地ニ於テ支給スルモノトス

給與通報 第十條 派遣軍規定第二十七條ニ依ル諸給與金ハ特ニ定ムルモノトシテ外ハ上陸地

於テ直接本人ニ支給スルモノトス其ノ給與要領附録第一ノ如シ

第十一條 派遣軍規定第二十四條ニ據ル死歿者生死不明者ニ付シテハ給與通

報(既ニ通報シタルモノヲ除ク)ヲ速ニ陸軍留守業務部ニ送附スルモノトス

第十二條 戦地ニ於ケル旅員及俸給等ノ支拂未済金(本要領第八條及第九條

モノヲ除ク)ハ上陸地ニ於テハ一切支給シ得サルヲ以テ乗船前ニ支拂ヲ

完了シシ~~シ~~置クモノトス

第十四條 各部隊ハ諸給與ノ確實ヲ期スルタメ各人ニ必ズ給與通報(俸給支拂證書

ヲ含む以下同シ)ヲ携帶セシムルモノトス

前項給與通報ニハ派遣軍規定第十八條第一項但書ニ該當スルモノアルト

キハ其ノ旨明示シ置クモノトス

第三章 前渡資金及決算整理

第十五條 第十二軍經理部分任官(以下軍分任官ト稱ス)ヨリ交付スヘキ臨時軍

專費前渡資金(以下臨時前渡資金ト稱ス)ハ昭和二十年十月ヨリ以テ

停止ス各兵團及各部隊(兵團以下部隊ヲ除ク)以下同シ)ハ臨時軍專

費ヲ昭和二十年十月末日ヨリ以テ締切前渡資金残額ヲ従前ノ資金系

統ニ從ヒ軍分任官ニ返納スルモノトス

第十八條 本要領第十五條第二項ニ據ル臨時前渡資金残額返納ニ際シテハ左記最

終證據書類ヲ調製提出スルモノトス

ハ臨時軍專費受拂計算書

ハ残額集計表(金種区分表添付)

ハ科目更正集計表

4. 概算拂金内譯書

5. 領收證書未到達内譯書

6. 自覺報告書

7. 證憑書(附契約書)

8. 保證書

9. 證明書(各兵團ノ取扱ニ係ル物件賣物買特別購入諸費ニ付スル分)

第三十條 各兵團及各部隊ハ昭和二十年四月以降ノ臨時軍事費及借入前渡

資金ノ總體受拂計算書(様式第一)ヲ調製シ左記期限内ニ軍経

理部ニ提出スルモノトス

ノ臨時軍事費ニ係ルモノ 昭和二十年十二月末日

又借入前渡資金ニ係ルモノ 乘船當日

第三十一條 前條總體受拂計算書ニ左記書類ヲ添付スルモノトス

ノ前渡資金領收明細書(振替送金歳入合算ノ差額受領額ヲ合ハシ様式

第二十四條 軍人軍屬ノ携帶スル預金通帳送切小切手其ノ他證書證券等ハ上陸地ニ
臨時派遣セル日本銀行本社代理店（以下日本銀行ト稱ス）ニ保護預ケスル

モノトス

其ノ細部要領ハ附録第四ニ依ル

第二

第二十二條 臨軍前渡資金及借入前渡資金ノ取扱並ニ決算整理ノ細部ハ派遣軍規定

第二十九條 第二項ニ據ル外本要領附録第二ニ據ルモノトス

第四章 携行資金

第三十條 通貨交換ハ左記ニ據リ実施シ其ノ細部ニ関シ

テハ本要領附録第三ニ據ルモノトス

ノ各人ノ携帶スル現地通貨ハ現地ニ於テ復員管理官ノ発行スル通貨交換

證明書ト引替ハ内地最寄郵便局ニ提示現金ヲ受クルモノトス

各部隊出納官吏ハ前項現地通貨ヲ臨時軍事費前渡資金ニ差繰整理ノ

上其ノ資金系統ニ依リ軍分任官ニ返納スルモノトス

交換ハ左ノ限度ヲ超過スルヲ得サルモノトス

將校見習士官准士官 五百圓

下士官 兵 貳百圓

第五章 衣糧專項

第三五條 被服ニ関シテハ派遣軍規定第三十一條ニ據ルノ外左ノ各號ニ據ルモ、

(附表カ15号)

トス

ノ防寒被服ノ著裝又ハ携行區分ハ第十二軍經理規定附表第五其ノニニ據ルモノトス (防寒被服下ニ防寒靴下ニ防寒襪ト)

又各部隊長ニ於テ特ニ必要アリト認メ支給スル被服ハ眞ニ已ムヲ得ナル最

少限度ニ止メ且支給ノ趣旨ヲ徹底セシメ(被服自辨者ハ私分ノミヲ携

行スルヲ原則トス)以テ被服ノ取扱ニ関シ誤解疑惑ヲ起来セシメサル如ク

留意スレモノトス

仁地片毛布被
帛類及又枚

各部隊ハ乘船地ニ於ケル宿營ノ為派遣軍規定第三十一條第一號ニ拘ラス更ニ各人ニ毛布二個(蒲團ニアリテハ一個)ヲ携行セシムルモノトス

前項毛布ハ乗船ニ當リテハ乗船地宿營擔任部隊又ハ所在地貨物廠ニ之ヲ引継クモノトス

官物設置禁止

又現地復員又ハ原駐地移動ニ際シテハ派遣軍規定第三十一條及前各號ニ據ル以外ノ過剩被服ハ之ヲ整理(修理洗濯手入)シ所要ノ梱包ヲ

為ニ聯合國側若クハ最寄貨物廠ニ接收又ハ返納スルモノトス

但シ聯合國側へノ接收ニ関シテハ其ノ部度指示ス

第三十條糧食ニ関シテ派遣軍規定第三十二條ニ據ルノ外左ノ各號ニ據ルモノトス

ハ各部隊ハ派遣軍規定第三十二條第一號ノ糧食ノ外其船地滞留

輸送間ノ所帯糧食トシテ成ヘク多量(昭和二十年十月河運經衣

七號ニ示サレタル品目數量ヲ最少限度トス)ヲ携行スルモノトス

又各部隊ハ船内及船内豫備糧食上陸後ノ携帶用糧食及上陸地滞

留間用予備糧食等ノ積載ニ関シテハ其船地関係機関ト密接ニ連

繫シ遺漏一キヲ期スルモノトス

又各部隊ハ乘船地ニ於テ糧食ニ過剩ヲ生シタルトキハ特ニ指示セサル

限り之ヲ所在貨物廠若クハ後統部隊ニ引継クモノトス

又現地職員又ハ原駐地移動ニ際シテハ其ノ保有糧食ハ將來ノ所要量

ヲ考慮シ勉メテ多量ヲ各人ニ携行セシメ又ハ部隊ニ於テ携行スルモノ

トス

支那側列
 主食 副食 調味品

第三十三條 各部隊ニ與テハ派遣軍規定第三十三條ニ據ルモ、左ノ各號ニ據ルモ、

① 各人ニ支給スヘキ日用品及照明材料ハ各部隊ノ保有品ヲ以テ充當スルモノトス

② 船内所要個人食器ハ飯盒ヲ使用スルヲ本則トシ、分配用食器、桶類、馬定、照明材料等ハ、棄船地ニ捨テハ補給困難ニツキ、現ニ各部隊ニ保有シアルモノヲ携行スルモノトス

③ 派遣軍規定第三十六條ノ天幕及雨覆ハ各部隊ノ保有品中ヨリ之ヲ充當スルモノトス

④ 現地復員又ハ現駐地移動ニ際シテハ過剩物品ノ處理ハ本要領第三十五條第四號ニ準スルモノトス、持テ燒却破損遺棄讓渡等適宜處分スルコトハ嚴禁スルモノトス

第三十八條 各人ニ支給セサル恤兵品ハ需品ニ準シ之ヲ處理スルモノトス

⑤ 銃、酒保及物品取替所、肉保、食品ノ處理ハ昭和二十年九月仁集經衣第一〇八號及仁集經衣電第一〇九號ニ據ルモノトス

第三十條 各兵團及部隊ハ中國側受降主管ヨリ請物品ノ現品交付ヲ受ケタルト

キハ物品授受證書ヲ作製シ其ノ授受ヲ明確ナラシムルト共ニ品目別

受領數量、單価、小計ニ就キ毎月分ヲ取纏メ翌月十日迄ニ軍經理部ニ

通報（電報）スルモノトス。前項ノ單価ハ中國側受降主管ノ購入單価ト

シ該單價不明ナル場合ニ限リ市場ノ平均單価ニ據ルモノトス

第三十一條 現品交付ニ係ル諸物品並ニ借入前渡資金及現物代金ヲ以テ購入セル物品

ノ記帳整理ハ總テ戰用品取扱ノ要領ニ據ルモノトス

第三十二條 各兵團及部隊ハ物品ニ関スル左記書類ヲ上陸地ニ於テ軍經理部ニ提出

スルモノトス

1. 物品出納（受押）簿

2. 物品出納證據書（合列繼書）

3. 物品授受證書（第三十條ノモノ）

4. 現品交付物品月別価格表

第六章 營 繕 專 項

第三十三條 派遣軍規定第三十七條ニ據ル土地建物引継関係書類、兵團及部隊毎ニ
取纏メ棄船地ニ於テ軍經理部ニ提出スルモノトス

0775

附録第一

上陸地ニ於ケル給與金支給細部要領

上陸地ニ於テハ滯留時間極メテ僅少ナルニ加ヘ人員及之ニ伴フ荷物ノ卸下搭載
其ノ他物件ノ授受検査等極度ノ混雜ヲ予想セラル故ニ各部隊ハ本規定第九條
ニ據ル請給與金支給ニ関シテハ左記要領ニ依リ萬全ヲ期スルモノトス

第一 本要領第三條ノ複代人ヨシテ各連名受領證ニ通ヲ作製セシメ其ノ一通ハ
複代人ノ直接各人ヘノ受領證憑書タラシメ他ノ一通(複代人ノ受領印
ヲ押捺セシメス)ヲ部隊代人ニ提出セシムルモノトス

部隊代人ヘ提出セシムヘキ受領證ニハ金種区分表ヲ添付スルモノトス

第二 部隊代人ハ前項ノ受領證ヲ調査シ之ニ基キ更ニ部隊全部ノ受領證三通
ヲ新ニ作製シ其ノ一通ニハ各受領者ノ受領印(裏則ナルモ狀況上止ムヲ得
サル旨説述シ置クヲ要ス)ヲ押捺セシメ置クモノトス

此ノ際派遣軍規定附表第十四屬表ノ委任狀ヲモ併セ徴シ且金種区分

表ヲ作製添付スルモノトス

第三、前項ノ受領関係書類ハ本規定第二條ニ據リ上陸地ニ先遣スルトキニ携行直ニ其ノ一通(印鑑ヲ押捺セス)ヲ復員本部又ハ出張所ノ分任官ニ提出シ部隊上陸前ニ資金ノ交付ヲ受テ之ヲ各復代人ニ直ニ交付シ得ル如ク区分シ置ケモノトス

但シ第一船部隊ニ属スルモノハ上陸直ニ前項ノ處理ヲナスモノトス而シテ成シ得レハ乗船地ニ於テ派遣軍規定第五條第七號ノ電報ニ其ノ準備方(金種別ヲ明記ス)ヲ復員本部又ハ出張所ノ分任官ニ要求スルモノトス

第四、部隊代人ハ復代人ニ資金ヲ交付セハ曩ニ復代人ヨリ提出セル受領證ニ該代人ノ受領印ヲ復代人ハ各人ニ支給セハ其ノ手許ニ控置セシ受領證ニ各人ノ受領印ヲ徴シ以テ其ノ收受ヲ明確ナラシメ置ケモノトス

第五、部隊代人乗船地出発後金錢給與ニ影響ヲ及ボス人員ノ異動等アリタルトキ復代人ハ遲滞ナク部隊經理室(之ニ準スル機関ヲ含ム以下同シ)

ニ連絡スルモノトス

右連絡ヲ受ケタル部隊經理室ハ其ノ旨ヲ直ニ上陸地ニ先行セル部隊代人

ニ最善ノ方法ヲ以テ通報シ受領證等関係書類ヲ訂正セシム

第六派遣軍規定第十六條ニ據ル人員ニ付スル給與ハ部隊代人直接扱トシ復員

本部ト連絡ノ上支給ス

0778

附錄 第二

前渡資金取扱及決算整理細部要領

第一 臨時前渡資金返納後ニ於テ其ノ過拂額ニ過誤拂等ヲ発見シ整理ヲ要スルトキハ左記ニ據リ處理スルモノトス

一 過拂ノ部分ニ就テハ之ヲ返納セシメ陸軍前渡資金ニ受入タル後從前ノ資金系統ニ從ヒ返納整理スルモノトス

二 不足拂ノ部分ニ就テハ從前ノ資金系統ニ從ヒ陸軍前渡資金ノ交付ヲ受ケ支拂整理スルモノトス

第四 衣糧諸物品ハ中國創設降主官ヨリ現品交付ヲ受クルヲ本則トスルモ現品ニ替ヘ代金ヲ交付(以下現物代金ト稱ス)セラルトキハ現物代金接受證書ヲ作製シ其ノ接受ヲ明確ナラシムルモノトス

現物代金ノ取扱決算整理及諸報告等ハ總テ借入前渡資金ニ付定メテシタル規定ヲ準用スルモノトス

第五 前二項ノ各取扱證書ハ日附順ニ編綴シ本要領第十八條ニ據リ上陸地ニ於

ヲ軍令任官ニ提出スルモノトス

第八借入前渡資金及現物代金ノ整理簿ニハ左ノ如ク口座ヲ設テ記帳整理スルモノトス

1. 借入前渡資金

2. 現物代金

3. 分任官(復分任官)

4. 現金

第十一各兵團部隊ニ於テ真ニ己レヲ得ス中國及聯合軍側ヨリ官(公)金ヲ押收セ

ラレタルトキハ該官憲責任者ノ領收證ヲ徴シ拂出整理スルノ外其ノ都度官

公金及通貸別金額並押收官憲名ヲ軍司令官ニ電報スルト共ニ陸軍會計

事務規程第九十五條中所定事項ニ書類ヲ以テ報告スルモノトス

第十二各兵團及部隊ノ金銭及物品出納ニ関スル帳簿及證憑書類ハ従前ノ規

定ニ拘ラズ總テ携行帰還シ上陸地ニ於テ目錄ヲ附レ軍經理部ニ引継

クモノトス

前号ノ帳簿書類ニ昭和二十年十月二日甲方經電第一〇八二号(同月五日

に集計等(四三号ノ別紙)第二項ノ添證書ヲ以テ證明シタル證憑書類

同第三號ノ檢査ヲ了シタル嗎簿證憑書ヲモ含ムトス

第十三乘船地ニ於ケル諸物貨購入代金ハ軍令佐官ニ於テ一括交付スヘキニ付各部隊

ハ購入物件證明書(債主ノ納付證ニ證明スルモノトス)ヲ提出スルモノトス

0781

附録第三

通貨交換細部要領

第一 各部隊ハ各人ニ付其ノ交換金額ヲ調査シ各通貨別ニ通貨交換連名簿(様式第

五)(以下單ニ連名簿ト稱ス)ニ通テ調製スルモノトス

第二 各部隊分任官ハ前項連名簿ニ基キ各人ヨリ現金ヲ徴シ本要領第二十三條第

二號ニ據リ該金額ヲ前渡資金ニ差継整理シ返納證ヲ附シ連名簿ニ通テ添

ハ軍分任官ニ返納(提出)スルモノトス

連名簿提出後ニ於テハ其ノ理由ノ如何ニ拘ハズ記載金額ヲ訂正シ得サルモノトス

ノトス

第三 軍分任官ハ部隊ヨリ提出セル連名簿ヲ調査検討シ通貨交換證明書(以下

單ニ證明書ト稱ス)ヲ交付スルノ手續キヲ爲スモノトス

第四 各部隊分任官ハ軍分任官ヨリ證明書ノ交付ヲ受ケタルトキハ連名簿ニ訂

照確認シ最モ迅速ナル方法ヲ以テ各人ニ交付スルモノトス

第五 〇 證明書ノ再発行ハ爲シ得サルニ付其ノ取扱ハ慎重ナラシムルモノトス
第六 前五項以外ノ授受其ノ他ニ就テハ總テ附録等ハ「土地」ニ於ケル給與金支
給要領ニ準據スルモノトス

0783

附録第四

有價證券等保護預ト實定細部專領

第一

本規定第二十四條ニ據リ日本銀行ニ有價証券并ヨ保護預トセントスルモノハ左記事項ヨ記載セル保護預ト依頼者(以下單ニ依頼者ト稱ス)ヨ調製セシメ本規定第三條ノ複代人ニ現物、共ニ提出セシムルモノトス

ノ預入人ノ本籍地復員後ノ住所預入人ハ氏名(振替名ヨ附ス)預入人不在場合ニ於ケル代理受領人(委任届ヨ附記ス)印鑑ヨ記載スルノ外

郵便貯金ニ就キテハ記号、番号及残高

第二 複代人前項ノ依頼書ニ受ケタルトキハ之ヲ調査シ保護預物件接受證

(様式第六)ニ通リ調製シ其ノ一通ニ預入ヨリ提出セル依頼書ヨ添付現物

ト共部隊代人ニ送付スルモノトス

第三 部隊代人ハ更ニ之ヲ調査整理シ複代人ニ送付シ預リ證ヲ発行スルモノトス

第四 部隊代人ハ上陸地日本銀行ニ依頼書ト共ニ現物ヲ差出シ預入レ之ヲ受

領ノ證トシテ海邊爲名義ノ保管證ノ交付ヲ受ケルモノトス

第五 前項保管證ハ將示預入物件拂戻等ノ引替證憑書ナルヲ以テ其ノ取扱ヲ

慎重ナラシメ總テ收受證ニ対照シテ上 收受ヲ實施スルモノトス

第六 前項以外ノ收受其ノ他ニ就キテハ總テ附録第一「上陸地ニ於ケル給與金」

給與領ニ準據スルモノトス

様式第五

通貨請求連名簿

部隊長 (印)

年 月 日

河部隊分任官

氏

名

(印)

一金

内 譯 (中國聯合準備銀行券建)

金額	官	氏	名	證	印	金額	官	氏	名	證	印
壹〇〇〇〇〇	少尉	春野	六郎	請求	受領					請求	受領
參〇〇〇〇	兵長	夏海	八郎	(夏海)							

調製上ノ注意

一本證ハ三通ヲ作製シ其ノ三通(各人ノ請求及受領印ヲ押捺セシメス)ニ現金ヲ添ヘ
軍分任官ニ提出シ此ノ一通ハ部隊分任官ノ證憑書トス

二部隊分任官ノ證憑書ニハ將來ノ錯誤等ニ依ル紛争ヲ考慮シ各人ニ交換ノタメ提出セ
シ金額ヲ確認セシメルタメ請求印ヲ押捺セシメ置キ又交換金額ヲ交付セシ時受領

印ヲ押捺セシムルモノトス

三 本證金額ノ數字ハ特ニ改描シ得ザルモノトス

四 本證ハ階級別人員ハ俸給及賞與ノ人員ト一致スルモノトス

五 部隊分任官ヨリ各人ニ交換金額ヲ交付セハ適宜ノ方法ニ依リ受領印ヲ徴スルモノトス

0787

様式第六

保護物件收受證

年 月 日 東京都復代人 官 氏 名

(印)

種 類	記 号	田 数	別	券 面 額	枚 数	券 面 額 計	附 属 利 札	氏 名	證 印
四分利 國庫債券	三號	第十回		壹千圓	五	五千圓	昭和三十年 六月以降 附	椿 良一	
五分利 國庫債券	四號	第五回		五百圓	壹	五百圓	昭和十八年 十二月以降 附	梅 一二	

調製上ノ注意

- 一 各預金通帳送金小切手其ノ他ノ證書證券ヲ本様式ニ準シ調製スルモノトス
- 二 收受其ノ他ノ事項ハ様式第五ニ準スルモノトス

0788

軍人俸給一覽表 (抜粋)

階級	大佐		大尉		中尉		少尉		准士官		曹長		伍長		上等兵		一等兵		考滿	
	1	2	2	3	1	2	2	1	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	甲	乙
本俸	三七〇〇〇	三四〇〇〇	三二七五〇	三〇〇〇〇	二八二五〇	二六五〇〇	二四七五〇	二三〇〇〇	二一二五〇	一九五〇〇	一七八五〇	一七〇〇〇	一六二五〇	一五五〇〇	一四七五〇	一四〇〇〇	一三二五〇	一二五〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇
職階増符	三四九〇〇	三二七五〇	三〇六〇〇	二八四五〇	二六三〇〇	二四一五〇	二二〇〇〇	一九八五〇	一七七〇〇	一五五五〇	一三四〇〇	一三二五〇	一二一〇〇	一一〇〇〇	一〇〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	七〇〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇
臨時手当	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇	一七二五〇
合計	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇
復員支給月額	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇	七一五〇〇
本俸職階増符	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇	八八七五〇
摘要	<p>留年支渡実額をハ、 本俸額並に金二付賦地 増俸及隊長加俸 技術加俸ヲ支給ス</p>																			

考滿
隊長加俸
甲額 中尉以上 一五五円
乙額 少佐大尉 一三〇円
丙額 中尉以下 一五五円

技術加俸 (曹長等) 一三〇

日當移轉料一覽表 (被俸)

考	備	兵	管内下士官	管外下士官	准見 士官	尉官	佐官	階級	
								區	分
	一移轉料ハ管外者以上右定額ノ半額支給	一五〇	二三〇	二三〇	三〇〇	三八〇	四五〇	日	當
				一五〇	一七〇	二三〇	二九〇	百料未滿	移
				一八〇	二一〇	二七〇	三〇〇	百料以上	
				二〇〇	二四〇	三一〇	三四〇	五百料以上	轉
				二二〇	二六〇	三三〇	三七〇	千料以上	
				二四〇	二八〇	三六〇	四〇〇	千五百料以上	
				三〇〇	三五〇	四五〇	五〇〇	二千料以上	料

軍人俸給一覽表 (抜粋)

階級	區分	本俸		戰地増俸		臨時平當		合計		復員時支給月額 本俸戰地増俸計
		本	分	本	分	本	分	本	分	
大佐	1	三七〇	〇〇	三四	五〇	一七	二五	八八	八〇	七一五
大尉	2	三四〇	〇〇	三四	五〇	一七	二五	八八	八〇	六一五
中尉	3	二七	五〇	一四	五〇	七	二五	三九	五〇	二八五
少尉	1	二二	五〇	一四	五〇	七	二五	三九	五〇	二六五
少尉	2	一四	五〇	一四	五〇	七	二五	三九	五〇	二〇九
少尉	3	一〇	五〇	一四	五〇	七	二五	三九	五〇	二〇九
准士官	3	八	五〇	一〇	五〇	五	二五	二八	五〇	一七五
准士官	4	八	五〇	一〇	五〇	五	二五	二八	五〇	一七五
准士官	1	七	五〇	一〇	五〇	五	二五	二八	五〇	一七五
准士官	2	七	五〇	一〇	五〇	五	二五	二八	五〇	一七五
准士官	3	三	五〇	一〇	五〇	四	二五	二二	五〇	一六〇
准士官	4	三	五〇	一〇	五〇	四	二五	二二	五〇	一六〇
軍曹	1	三	〇〇	一〇	〇〇	二	〇〇	九	五〇	七六
軍曹	2	三	〇〇	一〇	〇〇	二	〇〇	九	五〇	七六
軍曹	3	三	〇〇	一〇	〇〇	二	〇〇	九	五〇	七六
軍曹	4	三	〇〇	一〇	〇〇	二	〇〇	九	五〇	七六
伍長	1	二	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	七	〇〇	六四
伍長	2	二	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	七	〇〇	六四
伍長	3	二	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	七	〇〇	六四
伍長	4	二	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	七	〇〇	六四
上等兵	1	一	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	六	〇〇	五七
上等兵	2	一	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	六	〇〇	五七
上等兵	3	一	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	六	〇〇	五七
上等兵	4	一	〇〇	一〇	〇〇	一	〇〇	六	〇〇	五七
二等兵	1	九	〇〇	一〇	〇〇	七	〇〇	三	五〇	二四
二等兵	2	九	〇〇	一〇	〇〇	七	〇〇	三	五〇	二四
二等兵	3	九	〇〇	一〇	〇〇	七	〇〇	三	五〇	二四
二等兵	4	九	〇〇	一〇	〇〇	七	〇〇	三	五〇	二四
甲兵	1	九	〇〇	一〇	〇〇	六	〇〇	二	七〇	二一
甲兵	2	九	〇〇	一〇	〇〇	六	〇〇	二	七〇	二一
甲兵	3	九	〇〇	一〇	〇〇	六	〇〇	二	七〇	二一
甲兵	4	九	〇〇	一〇	〇〇	六	〇〇	二	七〇	二一

備考
 隊長加俸
 甲類 中尉以上 一五五
 乙類 少佐大尉 一三〇
 丙類 中尉以下 一五五

技術加俸 (官長等) 高

摘 要
 留年宅候兵格者ハ
 本俸額送金ニ付戰地
 増俸及隊長加俸
 技術加俸ヲ支給ス

日當移轉料一覽表 (抜擢)

考備	兵	管内下士官	管外下士官	准見 階士官	尉 官	佐 官	階級	日當	移	轉	
							區分				
下移轉料 管内者以外 右定額 十額支給	一五〇	二三〇	二三〇	三〇〇	三八〇	四五〇	百料未満	〇	〇	〇	
			一五〇	一七〇	二三〇	二五〇	百料以上	〇	〇	〇	
			一八〇	二一〇	二七〇	三〇〇	二百料以上	〇	〇	〇	
			二〇〇	二四〇	三一〇	三四〇	三百料以上	〇	〇	〇	
			二二〇	二六〇	三三〇	三七〇	千料以上	〇	〇	〇	
			二四〇	三八〇	三六〇	四〇〇	千五百料以上	〇	〇	〇	
			三〇〇	三五〇	四五〇	五〇〇	二千料以上	〇	〇	〇	